

1. 化学物質等及び会社情報

発売元 : 株式会社文化雑巾
住 所 : 埼玉県鴻巣市広田3538
電話番号 : 048-578-8953
FAX番号 : 048-578-8954
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
	眼に対する重篤な損傷／目刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分1
	水生環境有害性（慢性）	区分1

記載の無いものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : (原液または高濃度の場合)
飲み込むと有害
重篤な眼の損傷
水生生物に非常に強い毒性

注意書き／安全対策 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

注意書き／応急処置 : 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。2～3度、水を飲ませて吐き出す事を繰り返し、牛乳または生卵を飲ませ、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断を受けること。

眼に入った場合：直ちに流水で注意深く5分以上洗眼すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

注意書き／保管 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

注意書き／廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	CAS番号	化審法	安衛法
カチオン系液体混合物	非開示		
炭酸塩	非開示		
キレート剤	非開示		
消泡剤	非開示		
その他			

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 : 直ちに流水で注意深く5分以上洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぐこと。

2～3度、水を飲ませて吐き出す事を繰り返し、牛乳または生卵を飲ませ、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂等。
- 特有の消化方法 : 火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されている時は移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去する。
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業の際には保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、
眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項

- : 環境中に放出してはならない。
- 回収 : 作業の際には保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。
多量の場合は土のうなどで流出を防ぎ、液はポンプなどでできるだけ空容器に回収する。
- 二次災害防止策 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8項の暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8項の暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項 : 取扱い後はよく手を洗う。
適切な保護具（手袋、マスク、保護眼鏡等）を着用すること。
一度容器から出した液は元の容器に戻さないこと。
容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止すること。
用途以外には使用しないこと。
- 接触回避 : 他の薬剤・液剤と接触すると効果が無くなる場合がある。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光、40℃以上の高温、-5℃以下の低温を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

子供の手の届かない場所で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	:	この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
管理濃度	:	未設定
許容濃度	:	未設定
保護具	:	適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。
衛生対策	:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び科学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）

形状	:	粘性液体
色	:	透明
pH	:	7.5 (±0.5)
臭い	:	原液濃度において刺激臭あり。
粘度	:	137.0mpa·s
溶解度	:	水に任意に溶解
沸点	:	約 100°C
融点	:	-4.5°C
引火点	:	データなし
自然発火温度	:	不燃性物質

10. 安定性及び反応性

安定性	:	常温・常圧では安定。
危険有害反応性	:	データなし。
避けるべき条件	:	燃焼、混触危険物質との接触。加熱、火源、混接触物質との接触。
混触危険物質	:	他の化学薬品との接触不可。
危険有害な分解生成物	:	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	:	径口投与マウス（LD50）： 500 mg/kg 区分4とした。
皮膚腐食性及び刺激性	:	ヒト 0.2%水溶液 48 時間添付試験：反応は認められないため区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	1%水溶液 I.A.O.I=23.0 区分1
経皮	:	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性	:	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	:	データ不足のため分類できない。
発がん性	:	IARC・NTP・産衛学会に記載されていない。

- 生殖毒性 : データ不足のため分類できない
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露） : データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露） : データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

- 生態毒性（魚毒性） : 死滅したバクテリア・植物性プランクトン（アオコ）が魚のエラに蓄積し、死滅するおそれがある。
- 生態蓄積性 : データなし。
- 残留性・分解性 : データなし。
- 土壤中の移動性 : データなし。

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物として委託し処理すること。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

- 国連分類（Class） : 国連の基準で評価して危険物に非該当。
- 国連番号（UN No.） : 国連の基準で評価して危険物に非該当。

国内規制

- 航空規制情報 : 非該当
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。
飲食物または飲食容器類とは隔離する。
転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

国内適用法令

- 労働安全衛生法 : 該当しない
- PRTR 法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 該当しない
- 航空法 : 該当しない
- 毒劇物取締り法 : 該当しない
- 水質汚濁防止法 : 河川法および地方条例に従うこと。

※ 都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

16. その他情報

特記事項なし

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありません。
何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。